

# 学校司書のおすすめ～読書って楽しい！！

## ①～作曲家の伝記～

こんにちは、『読書のすすめ』のコーナーを見てくれてありがとうございます。

さて、5年生のみなさんには図書館開きの際に伝記についてお伝えしましたが、今回はその時とは違った観点から伝記の魅力をお伝えします。

今年の夏休み、みなさんはどんなふうに過ごしましたか？私はずっと家に籠っていたので、この機会にピアノの練習に励もうと思い立ち、毎日練習しました。最近はあまり弾いていなかったのですが子どもの頃弾いていた曲でも上手く弾けなくて大変でしたが、ドビュッシーやショパンの楽譜を前に、なんとなく弾けたつもりになって楽しみました。そして、ピアノの楽譜を楽しみながら私の心はドビュッシーの活躍した19世紀末「印象派絵画」の生まれた頃のパリへ、晩年のショパンが暮らしたマジョルカ島へと旅していました。

さて、みなさんは音楽の時間やお家で色々な曲を聴く機会があると思いますが、それを作った人が、どんな時代を生きたのか、どんな人生を送ったのか、考えてみたことはありますか？篠原小図書館には『母と子の音楽図書館シリーズ』（発行：音楽之友社）『作曲家の物語シリーズ全14巻』（発行：リブリオ出版）があります。モーツァルトやシューベルト、ショパンがどんな時代をどんなふうに生きたのか知ること、彼らが作った曲に対する理解もさらに深まると思います。

楽譜は、まるでタイムスリップしたかのように私たちに何十年・何百年前の作曲家の思いをそっくりそのまま届けてくれますが、作曲家の伝記は、楽譜と私たちとを繋ぐ潤滑剤のような役目を果たしてくれるような気がします。

今回紹介した本：『母と子の音楽図書館シリーズ』（発行：音楽之友社）

『作曲家の物語シリーズ全14巻』（発行：リブリオ出版）

（図書館に入って右側の2類(28)の書架にあります。）